

県立図書館利用状況

(昭和33年1月～12月迄、但し11月は移転の為休館)

	職業別利用者数			
	館内		計	比率
中学生	4,250	—	4,250	7.2
高校生	31,679	(4,060)	35,739	60.8
教育家	157	(183)	340	0.6
官公吏	1,084	(2,059)	3,143	5.3
銀行・会社	835	(1,020)	1,855	3.2
農業	244	(54)	298	0.5
商業	359	(369)	728	1.2
工業	634	(506)	1,140	2.0
その他	493	(348)	841	1.4
無職・主婦	6,137	(1,238)	7,375	12.5
児童	3,112	—	3,112	5.3
計	48,984	(9,837)	58,821	100%

  

	利用図書冊数			
	館内		計	比率
総記	1,159	(131)	1,290	2.4
哲学	1,364	(619)	1,983	3.7
歴史	3,123	(653)	3,776	7.0
社会科学	4,090	(1,792)	5,882	10.9
自然科学	3,267	(611)	3,878	7.2
工業・家事	1,312	(269)	1,581	2.9
産業	614	(197)	811	1.5
芸術	1,253	(533)	1,786	3.3
語学	1,724	(268)	1,992	3.7
文壇	7,261	(4,410)	11,671	22.0
児童	3,019	(354)	3,373	6.2
計	43,936	(9,837)	53,773	100%

註 ( ) 内の数は館外個人貸出を示す。

4. 整理事務

A 図書館奉仕の前にどんな仕事があるか

図書館に行って本を読んだり、調べたりしたことのある方は痛切に感じることであるが、自分の読みたい本、調べたいことがらを、何万冊の資料のなかからさがし出すことは容易なことではない。

図書館では、これらの利用者があらゆる角度から資料をたやすくさがし出されるように、各種の目録を作ったり、分類して体系的に順序よく書架に並べている。また、利用者の要望を聞き、地域の特殊性や図書館の性格を考慮して図書を選択し、購入したり、寄贈をうけている。これらの図書を図書館の蔵

5. 図書館協会の動き

年月日	種別	会場	要項
33. 4.24	監事会	県立図書館	(1) 昭和32年度決算監査 (2) " 事業実施状況監査
33. 6.16	評議員会	郡山市図書館	○報告事項 (1) 昭和32年度事業実施報告 (2) " 歳入歳出決算報告 (3) " 監査結果評報告 (4) 第5回福島県図書館大会において決議された協議題等の処理状況報告

書として図書原簿に登録して蔵書印を押し、ラベルを貼って書架に並べることによってはじめて利用者の手に渡る。このように利用者の手に渡る前の仕事を図書の整理といっている。それでこの整理のよしあしが図書館奉仕に直接に影響を与えることになる

B 整理事務ではどんなことをやっているか

a 図書の選択と廃棄図書の調査

b 受入

注文および寄贈申込、寄贈台帳・図書原簿の記載、蔵書印・登録印の捺印・ラベル・ブックカード・ブックポケットの作製貼付・逐次刊行物・小冊子類の処理

c 目録

事務カードの作製(書架目録、著者目録)閲覧用カードの作製(著者目録・書名目録・分類目録・件名目録)目録カードの編成

d 分類

図書の分類、特殊資料の分類、件名標目と参照の決定、図書記号の決定

e 蔵書目録の作製

旧蔵書の目録の記述と分類替、蔵書目録の印刷

f 製本

事前製本、破損図書の修理製本、逐次刊行物の合綴

C ここ数年來の整理事務の状況

新聞・雑誌・パンフレットその他逐次刊行物を除いた一般図書は、1カ年間に約5千冊増加するが、これらの図書は毎日整理されて閲覧に供されている。

この新着図書の整理と平行して、昭和28年より継続事業として、全蔵書の冊子目録を刊行することになり、旧蔵書約6万冊の目録の記述と分類替を開始し、昭和34年3月までに2万1千冊の整理を完了した。

この旧蔵書の整理によって、昭和30年3月には郷土資料、31年3月には総記・哲学篇、33年3月には歴史篇の蔵書目録を刊行し、34年度には社会科学篇を刊行する予定である。これら蔵書目録の刊行によって図書の利用価値は高まり、書庫にうずもれていた資料も日の目をみるにいたった。